

## APRU 国際政策諮問委員会(IPAC)に出席しました(2016/4/21-22)

テーマ：国際連携、APRU, マルチハザード  
場所：香港科学技術大学

4月21-22日に香港科学技術大学において、APRU 国際政策諮問委員会 (IPAC) が開催され、委員会メンバーである APRU 加盟大学の理事約 10 名、事務局スタッフ一同、マルチハザードおよびグローバルヘルスの各プログラムコーディネーターが参加しました。災害科学国際研究所からは、APRU マルチハザードプログラムコーディネーターの泉貴子特任准教授（情報管理・社会連携部門）が参加し、マルチハザードプログラムの 2016 年度の活動予定を紹介するとともに、プログラムの今後 3 年間の目標や方針についても説明しました。

APRU 事務局が今年 1 月にシンガポール国立大学から香港科学技術大学に移ると同時に、事務局には新たなスタッフも加わり APRU の方針・戦略も一新されました。IPAC は、主に加盟大学の副学長・理事 11 名から構成され、APRU の戦略や将来の政策方針を立案・リードし、事務局やプログラムのモニタリングや評価を行い、助言などを行います。

今回の会議では、新たに提案された APRU の方針・戦略、プログラム活動、いかに APRU が環太平洋地域の政策策定などに貢献できるかについて活発な議論と意見交換がなされました。また、6 月には、これまでの APRU の加盟大学による様々な分野での優れた研究、国際連携、社会貢献などの実績をまとめた「APRU Impact Report」が出版されることになっており、その中身についても最終的な確認が行われました。「APRU Impact Report」の中では、APRU 加盟大学による特に災害研究やマルチハザードプログラムに特化したチャプターが設けられ、APRU プログラムの柱の一つであるマルチハザードプログラムの活動や、加盟大学による災害研究や活動の事例がまとめられています。その中には、当研究所の研究・活動事例も紹介されています。

さらに、この「APRU Impact Report」を元に、APRU の活動やその研究成果をいかに環太平洋地域に向けて発信し、政策提言へ貢献するかについても議論され、諮問委員会メンバーからマルチハザードプログラムや防災に関する提案・方針書 (Policy-paper) を作成し、様々な機会を利用し幅広く発信することなどが提案されました。



会議の様子



全体写真